

# 平成21年 9月期 決算説明会

平成21年12月3日



Process Technologies for Tomorrow

ホソカワミクロン 株式会社

代表取締役社長 CEO 宮田 清巳

<http://www.hosokawamicron.co.jp/>

## 1. 決算の概要

- ・ 業績結果
- ・ 為替の影響
- ・ 事業関連別 業績結果
- ・ 所在地別 業績結果
- ・ 財務諸表
- ・ 平成21年9月期 決算のポイント

## 2. 今期の取組みと今後の展望

- ・ 経営ビジョンと経営課題
- ・ 成長市場への取組み
- ・ まとめ

## 3. トピックス

Hosokawa Micron Group

業績結果 / 総括

(単位:百万円)

	平成20年 9月期		平成21年 9月期		前年同期比
	実績	%	実績	%	
受注高	48,703	—	29,700	—	61.0%
受注残高	15,431	—	8,139	—	52.7%
売上高	49,485	100.0	34,874	100.0	70.5%
売上原価	32,432	65.5	22,760	65.3	0.2P減
売上総利益	17,052	34.5	12,114	34.7	0.2P増
販管費	13,804	27.9	10,726	30.8	2.9P増
営業利益	3,247	6.6	1,387	4.0	42.7%
経常利益	3,227	6.5	1,301	3.7	40.3%
特別損益	▲ 400	▲ 0.8	▲ 289	▲ 0.8	—
当期純利益	2,435	4.9	479	1.4	19.7%

対前年同期比

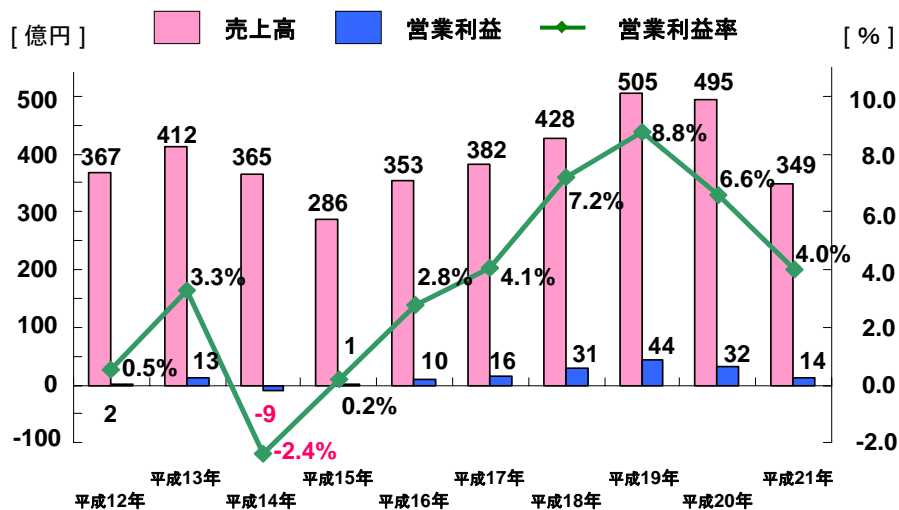
	売上高	営業利益
為替差	-5,679	-125
数量差等	-8,932	-1,735
合計	-14,611	-1,860

平成20年 (9月期)      平成21年 (9月期)  
 EURO 161.71円 → 128.71円  
 \$ 107.67円 → 95.22円

3

Hosokawa Micron Group

業績結果 / 売上高、営業利益、営業利益率の推移

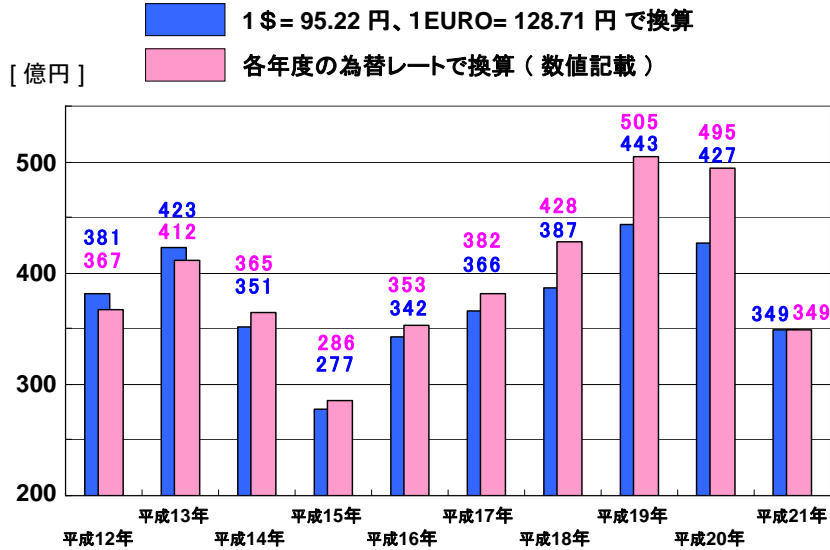


※ 平成15年度は、製菓関連事業は非継続であり、含んでおりません。

4

Hosokawa Micron Group

為替の影響 / 売上高



5

Hosokawa Micron Group

事業関連別 業績結果

上段は売上高、下段は営業利益、( )内は営業利益率

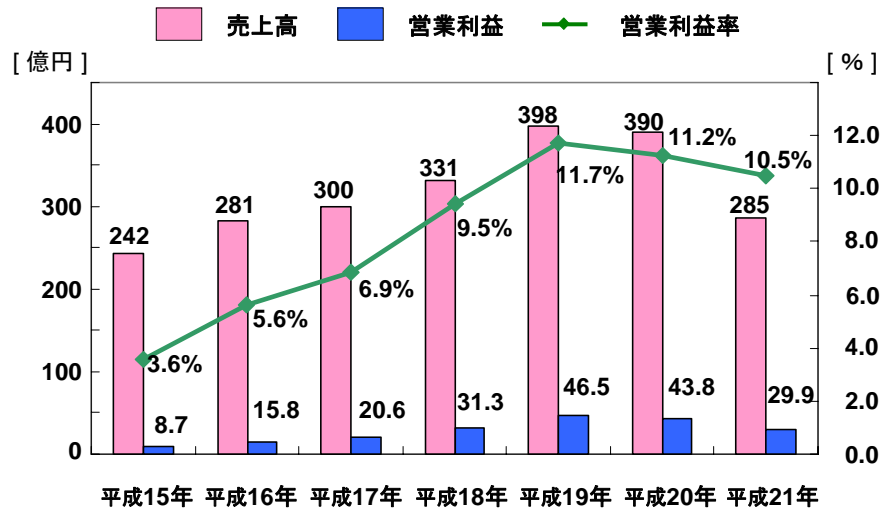
(百万円)

	平成20年 9月期		平成21年 9月期		差異	
粉体関連事業 (環境関連事業含む)	38,982		28,543		▲ 10,439	
	4,378	(11.2%)	2,985	(10.5%)	▲ 1,393	( ▲ 0.7%P)
プラスチック 薄膜関連事業	7,015		4,606		▲ 2,409	
	91	(1.3%)	▲ 179	( ▲ 3.9%)	▲ 270	( ▲ 5.2%P)
製菓関連事業	4,045		1,725		▲ 2,320	
	▲ 39	( ▲ 1.0%)	▲ 434	( ▲ 25.2%)	▲ 395	( ▲ 24.2%P)
消去又は全社	▲ 557		—		557	
	▲ 1,182		▲ 983		199	
連結	49,485		34,874		▲ 14,611	
	3,247	(6.6%)	1,387	(4.0%)	▲ 1,860	( ▲ 2.6%P)

6

Hosokawa Micron Group

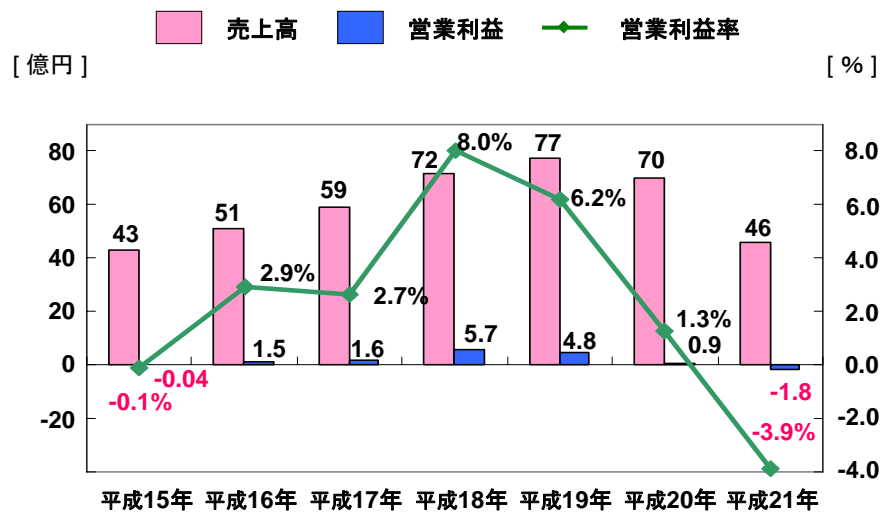
事業関連別 業績結果 / 【粉体関連事業】



7

Hosokawa Micron Group

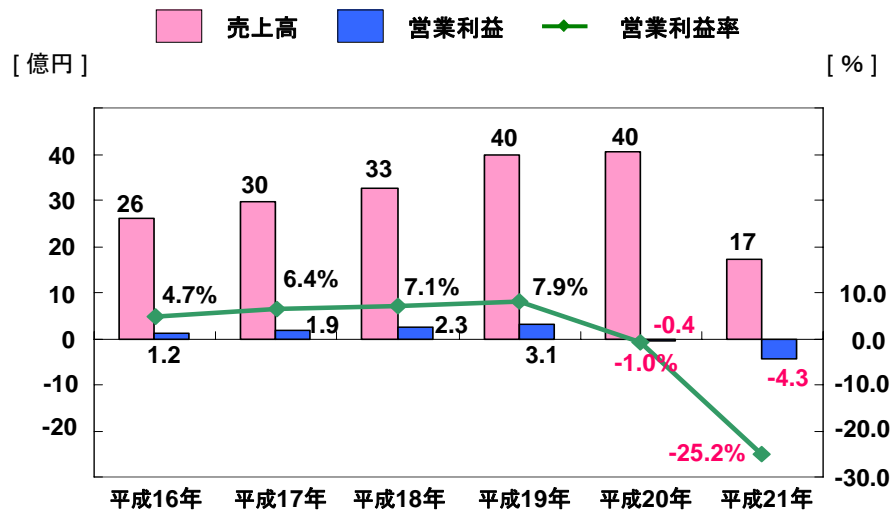
事業関連別 業績結果 / 【プラスチック薄膜関連事業】



8

Hosokawa Micron Group

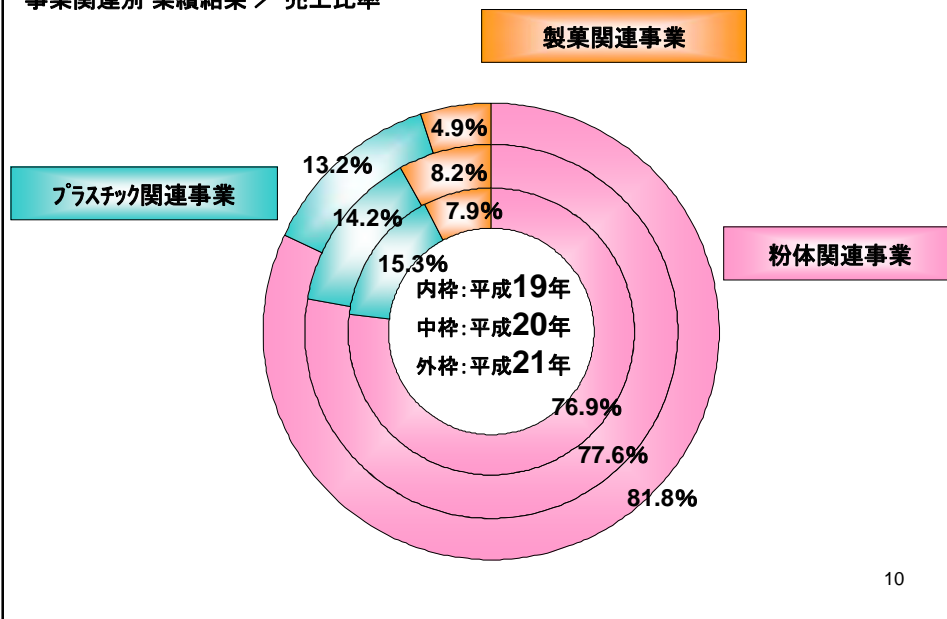
事業関連別 業績結果 / 【製菓関連事業】



9

Hosokawa Micron Group

事業関連別 業績結果 / 売上比率



10

Hosokawa Micron Group

所在地別 業績結果

上段は売上高、下段は営業利益、( )内は営業利益率

(百万円)

	平成20年 9月期		平成21年 9月期		差異	
	売上高	営業利益率	売上高	営業利益率	売上高	営業利益率
日本	14,518		12,675		▲ 1,843	
	2,386	(16.4%)	1,947	(15.4%)	▲ 439	(▲ 1.0%P)
アメリカ	4,368		3,710		▲ 658	
	▲ 118	(▲ 2.7%)	12	(0.3%)	130	(3.0%P)
欧州	32,429		20,123		▲ 12,306	
	2,083	(6.4%)	396	(2.0%)	▲ 1,687	(▲ 4.4%P)
アジア・その他	438		386		▲ 52	
	45	(▲ 10.3%)	98	(25.4%)	53	(35.7%P)
消去又は全社	▲ 2,269		▲ 2,021		248	
	▲ 1,149		▲ 1,066		83	
連結	49,485		34,874		▲ 14,611	
	3,247	(6.6%)	1,387	(4.0%)	▲ 1,860	(▲ 2.6%P)

11

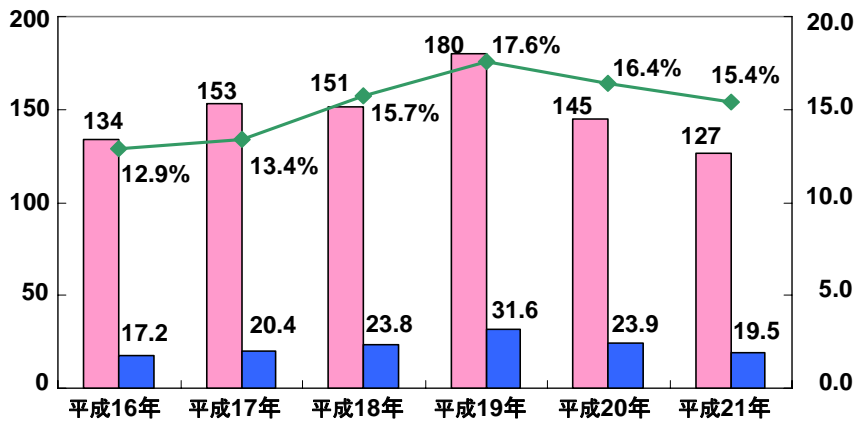
Hosokawa Micron Group

所在地別 業績結果 / 【日本】

売上高 営業利益 営業利益率

[ 億円 ]

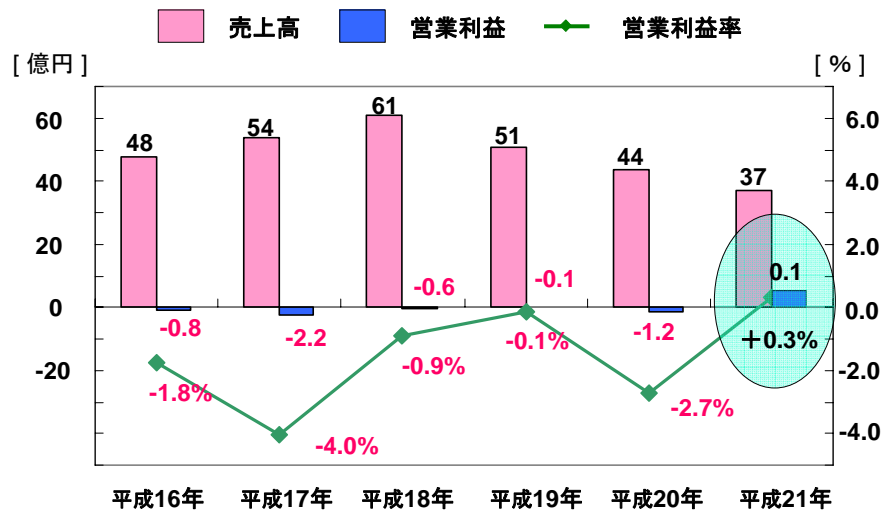
[ % ]



12

Hosokawa Micron Group

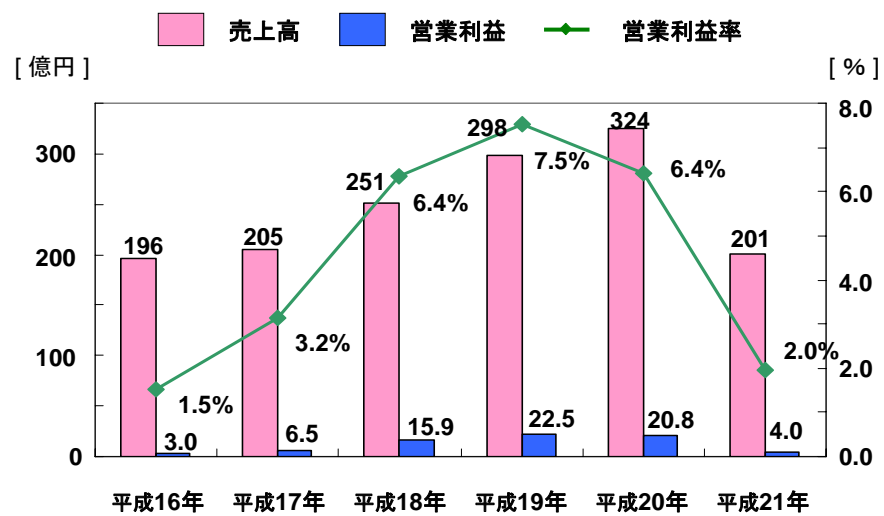
所在地別 業績結果 / 【アメリカ】



13

Hosokawa Micron Group

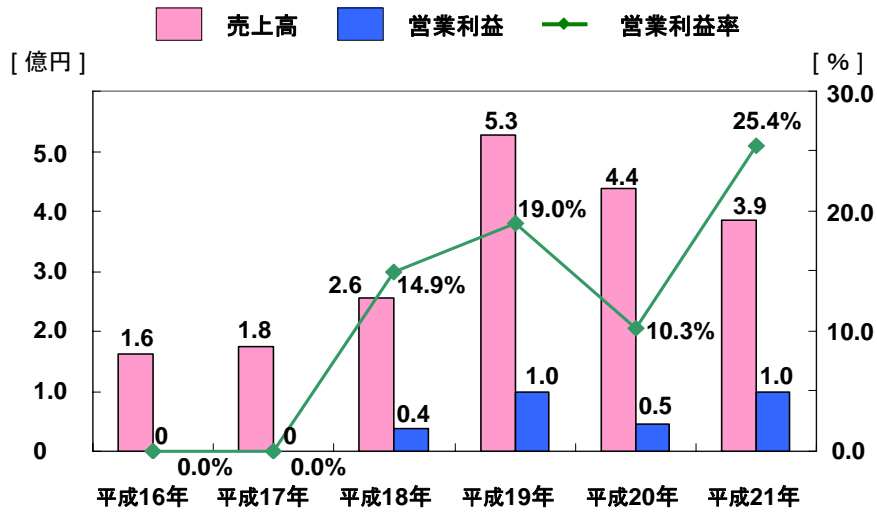
所在地別 業績結果 / 【欧州】



14

Hosokawa Micron Group

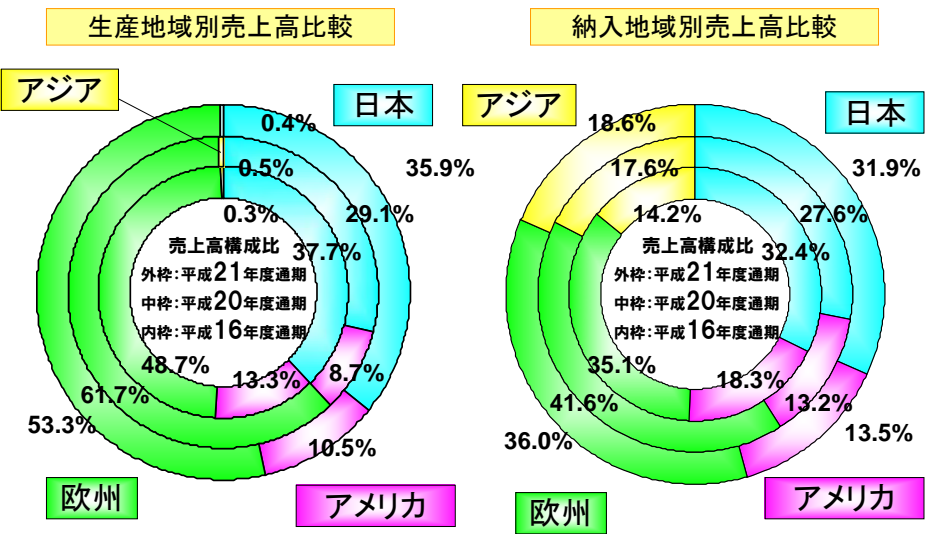
所在地別 業績結果 / 【アジア・その他】



15

Hosokawa Micron Group

地域別の売上高 (連結)

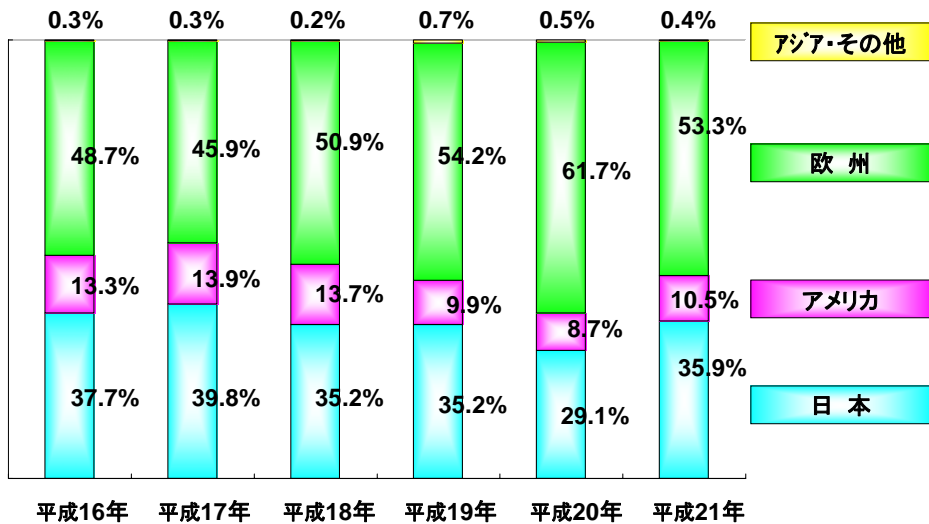


16



Hosokawa Micron Group

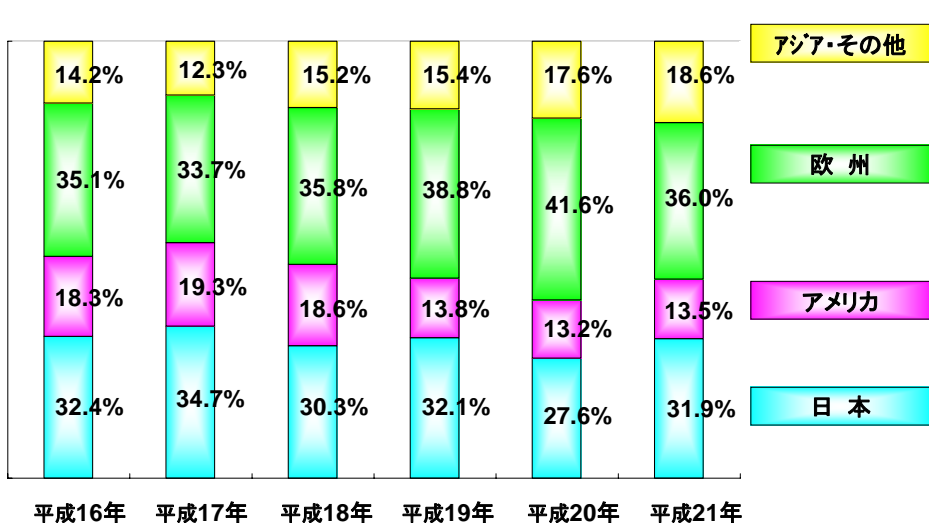
生産地域別売上高の推移（連結）



17

Hosokawa Micron Group

納入地域別売上高の推移（連結）



18

<i>Hosokawa Micron Group</i>					
財務諸表 / バランスシート (連結)					
	(百万円)				
	平成17年 9月期	平成18年 9月期	平成19年 9月期	平成20年 9月期	平成21年 9月期
流動資産	20,104	26,875	31,662	25,362	22,304
有形固定資産	13,245	13,662	16,105	16,386	16,562
無形固定資産	2,916	3,161	3,494	3,221	183
投資その他の資産	1,217	1,625	1,812	1,570	1,296
繰延資産	35	46	23	12	8
<b>資産合計</b>	<b>37,519</b>	<b>45,370</b>	<b>53,098</b>	<b>46,553</b>	<b>40,355</b>
流動負債	12,389	14,395	18,271	14,284	10,444
固定負債	7,518	8,415	8,730	8,387	9,726
純資産	17,610	22,559	26,095	23,881	20,185
<b>負債資本合計</b>	<b>37,519</b>	<b>45,370</b>	<b>53,098</b>	<b>46,553</b>	<b>40,355</b>

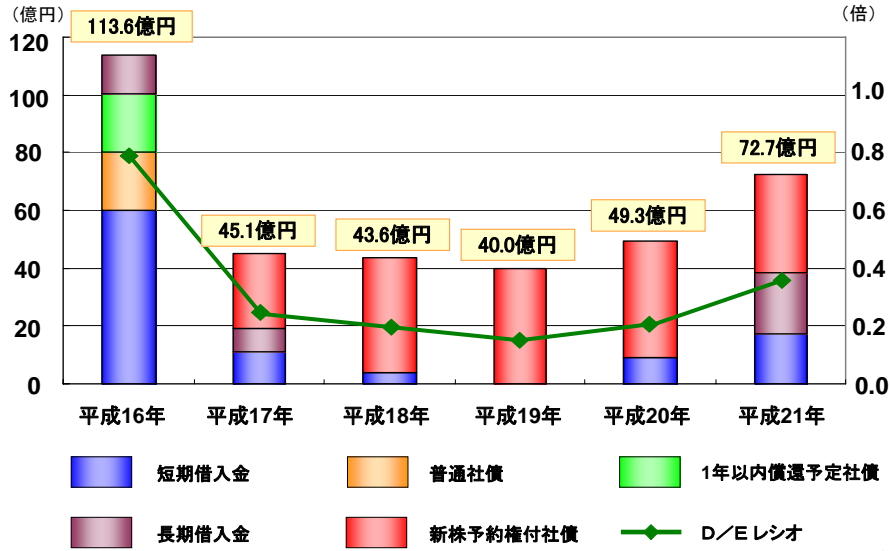
19

<i>Hosokawa Micron Group</i>			
財務諸表 / キャッシュフロー (連結)			
	(百万円)		
科目	平成20年 9月期	平成21年 9月期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	1,226	3,069	1,843
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 3,595	▲ 2,164	1,431
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,941	2,361	4,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 364	▲ 335	29
現金及び現金同等物の増減額	▲ 4,675	2,930	7,605
現金及び現金同等物の期首残高	8,883	4,208	▲ 4,675
現金及び現金同等物の期末残高	4,208	7,138	2,930

20

Hosokawa Micron Group

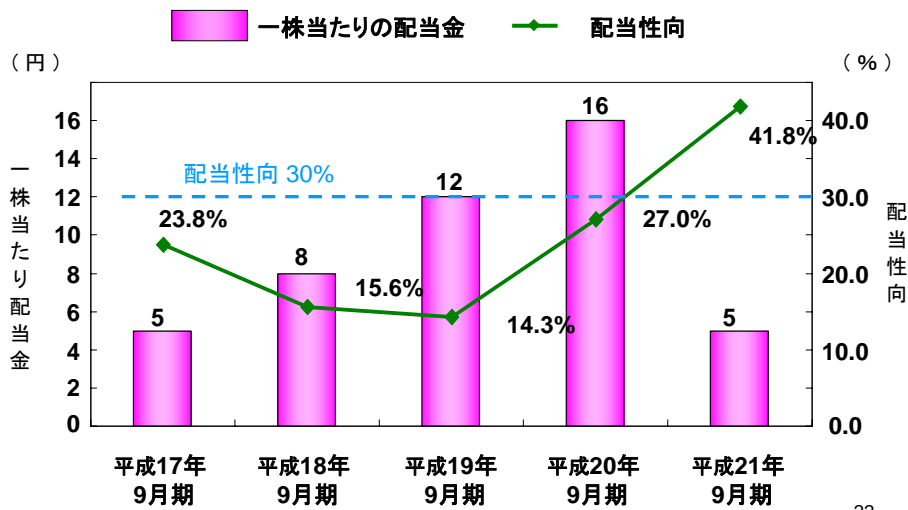
財務諸表 / 有利子負債の残高とD/Eレシオ (連結)



21

Hosokawa Micron Group

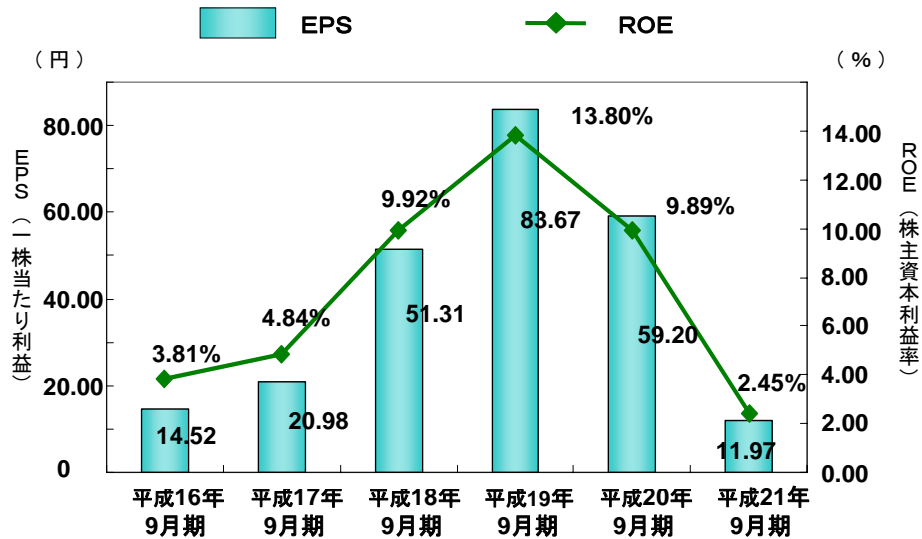
財務諸表 / 一株当たり配当金及び配当性向



22

Hosokawa Micron Group

財務諸表 / EPS & ROE



23

Hosokawa Micron Group

平成21年9月期 決算のポイント

(決算全般)

- ① 減収減益
- ② 為替変動(円高)の影響
  - ・対前期 売上高 ▲146億円のうち、目減り分 57億円
  - ・対前期 営業利益 ▲18億円のうち、目減り分 1億円

(収益確保のための諸方策)

- ③ 固定費の見直し、経費削減の徹底
- ④ 原価低減、販売価の維持向上により適正な粗利の確保

(地域別の状況)

- ⑤ 北米事業の黒字化
- ⑥ 中国、韓国向け売上が続伸
- ⑦ 中近東、東欧、ロシアを含む欧州市場の低迷

(事業別の状況)

- ⑧ プラスチック薄膜関連事業の赤字転落
- ⑨ 製菓関連事業の大幅赤字計上

24

## 1. 決算の概要

- ・業績結果
- ・為替の影響
- ・事業関連別 業績結果
- ・所在地別 業績結果
- ・財務諸表
- ・平成21年9月期 決算のポイント

## 2. 今後の展望

- ・経営ビジョンと経営課題
- ・成長市場への取組み
- ・まとめ

## 3. トピックス

25

### 経営ビジョン

#### 粉体技術連峰の形成

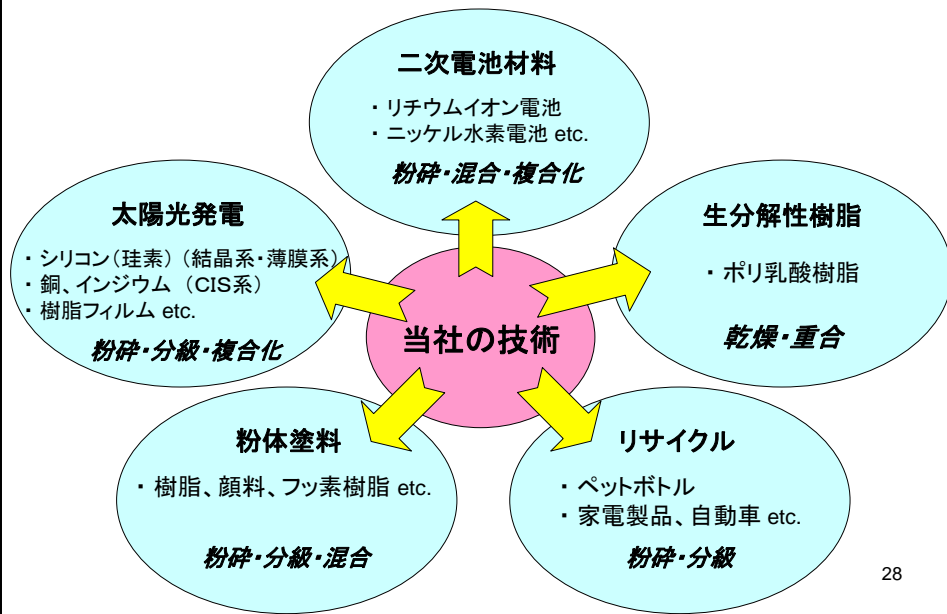
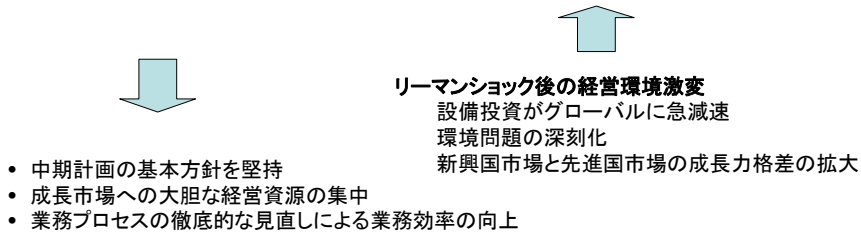
粉体技術の多様性、発展性を前提にすれば、単なる機械メーカーでは顧客の日々高度化していく要望に100%応える事は困難です。高度なエンジニアリング力を活用して、高性能な製品群を顧客の期待に応えるシステムとして提供する企業像が、ホソカワミクロンの経営ビジョンに謳われている“粉体技術連峰”です。高い技術力に裏付けられた製品群とそれらを繋ぐエンジニアリング力を、高峰が聳え立つ連峰をイメージして“粉体技術連峰”と表現しています。



## 粉体技術連峰の更なる成長、進化

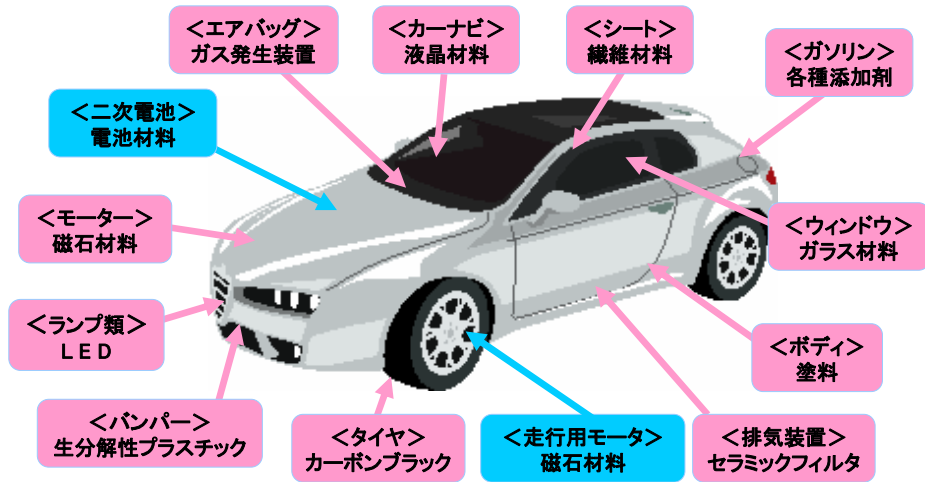
- ・ 成長、収益力向上、企業ガバナンス強化の同時達成
- ・ 粉体技術のトップ企業として、オンリーワン技術の開発促進
- ・ 新製品新技術の事業への投入
- ・ 人材の開発、登用の積極化
- ・ ナノマテリアル事業の強化
- ・ グローバル経営の効率化と積極化
- ・ アライアンス、M&Aを活用した事業成長

高い技術を持ち、技術革新(イノベーション)を続けて、顧客の粉体に関わる難問を解決する企業

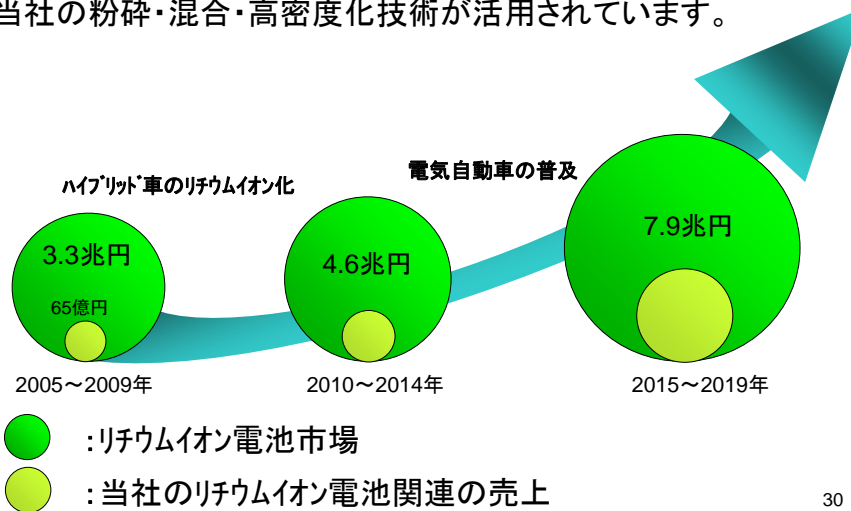


多くの自動車部品に粉体技術が使われています。

次世代車の登場により、更に高度な粉体技術への需要が増加。



正極材、負極材の両極材料の生産に  
当社の粉砕・混合・高密度化技術が活用されています。



世界的なCO<sub>2</sub>削減活動の加速



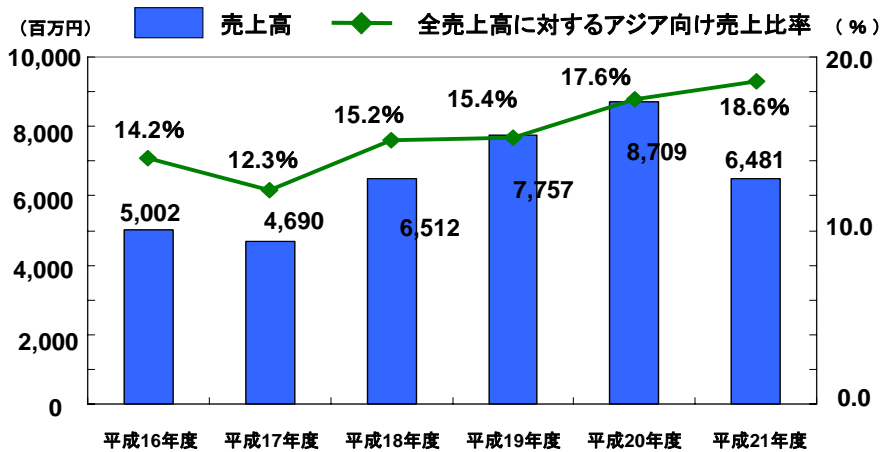
クリーンエネルギー分野の成長

- ・太陽光発電の普及
- ・二次電池市場の拡大
- ・HEV自動車、燃料電池自動車、電気自動車の開発・増産



高性能粉体材料の  
開発・増産

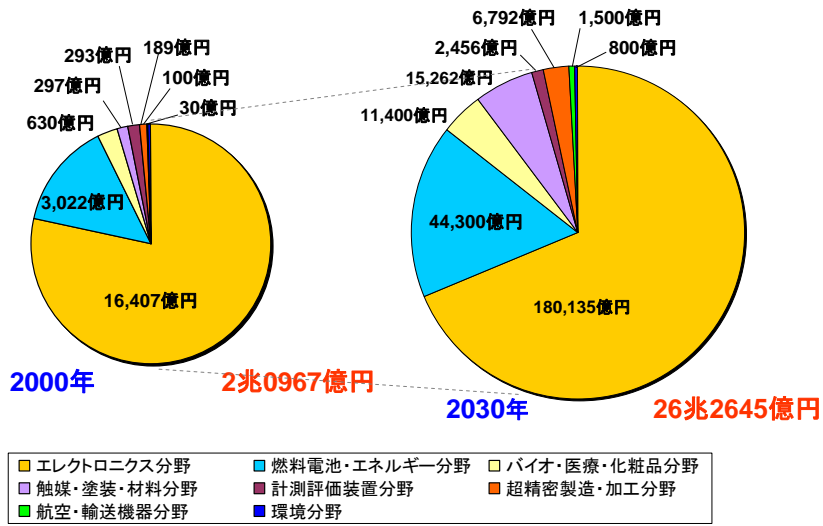
アジア地域への売上高





Hosokawa Micron Group

成長市場への取組み / 新興国市場(ナノマテリアル市場)



33

出典:平成17年度超微細技術開発産業発展戦略調査「ナノテク関連市場規模動向調査」

Hosokawa Micron Group

成長市場への取組み / ナノマテリアル・ビジネス

新製品 育毛剤 **NanoImpact Tera2.0**

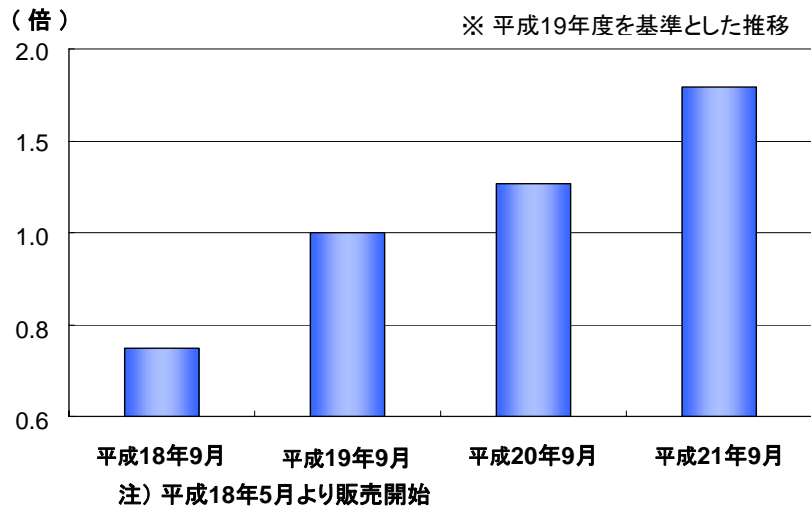
- ・PLGAナノ粒子を160nm と更に微細化(従来品 200nm)  
1回使用量当たりのナノ粒子個数が1.8兆個から2.0兆個へ。
- ・2009年 11月10日 販売開始
- ・サントリーウエルネス株式会社から通信販売



Hosokawa Micron Group

成長市場への取組み / ナノマテリアル・ビジネス

育毛剤・ナノインパクト 会員数の推移



35

Hosokawa Micron Group

業務プロセスの見直し / プラスチック薄膜関連事業の再編

景況感の後退による 先進国でのプラスチック薄膜製品への需要減退  
原料価格の乱高下による顧客の投資意欲低下  
新興市場での最先端機器への需要増大



粉体事業と一体で運営してきた地域別組織から  
プラスチック薄膜事業を分社化し事業別に再編

- ・ 意思決定の迅速化
- ・ 顧客対応の高度化
- ・ グローバルな事業戦略の明確化 を徹底する。

テストセンターに最新鋭テスト機を増強

新興市場であるアジア・オセアニアへの販促活動を強化



36

Hosokawa Micron Group

業務プロセスの見直し / 製菓関連事業の再編

景気後退に伴う顧客の設備投資意欲の低下  
価格競争の激化  
顧客のワンストップ調達志向の高まり



3ヶ所に点在している生産拠点をドイツ/ラインガルテンに集約中。  
生産・開発活動のスピードアップ、コスト削減を図る。  
顧客のワンストップ調達に応じられる新テストセンターを建設中。



早期の黒字化を達成



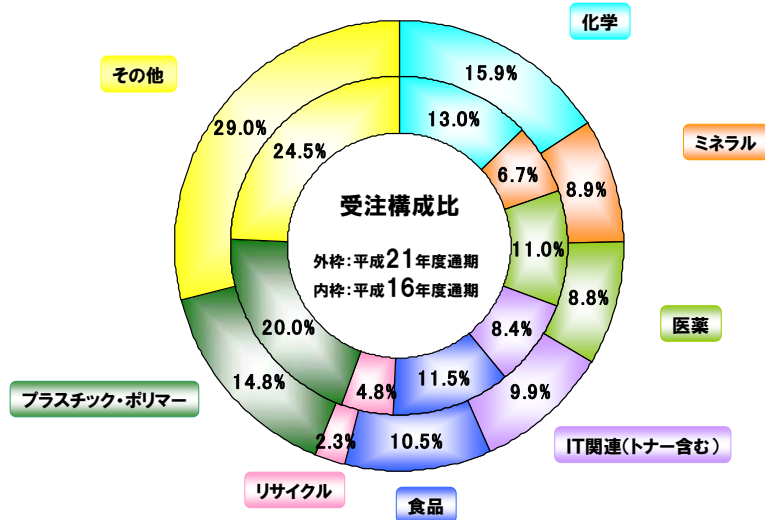
37

Hosokawa Micron Group

今後の展望 / まとめ

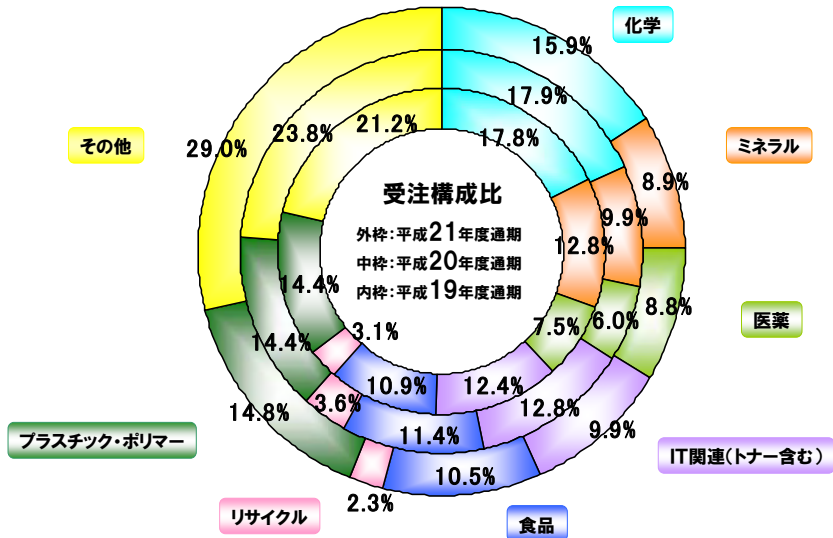


今後の展望／まとめ(業種別受注構成比の動向(連結)～5年前との比較～)



特定の業種・企業に依存していません。

今後の展望／まとめ(業種別受注構成比の動向(連結)～3年間の推移～)



特定の業種・企業に依存していません。

今後の展望／まとめ(平成22年度の予想)

(単位:百万円)

	平成21年 9月期		平成22年 9月期		前年同期比
	実績	%	予想	%	
売上高	34,874	100.0	31,500	100.0	90.3%
営業利益	1,387	4.0	350	1.1	25.2%
経常利益	1,301	3.7	300	1.0	23.1%
当期純利益	479	1.4	100	0.3	20.9%

### 1. 決算の概要

- ・業績結果
- ・為替の影響
- ・事業関連別 業績結果
- ・所在地別 業績結果
- ・財務諸表
- ・平成21年9月期 決算のポイント

### 2. 今期の取組みと今後の展望

- ・経営ビジョンと経営課題
- ・成長市場への取組み
- ・まとめ

### 3. トピックス

トピックス① AICHEMA2009 出展

化学技術・環境保護・バイオテクノロジーに関する  
世界最大の見本市

会期:2009年 5月11日 ~ 15日

会場:ドイツ フランクフルト市



43

トピックス② 第43回粉体工学に関する講演討論会

主催:財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

開催日:

2009年 8月28日

参加人数: 159 名

講演1 (KONA賞受賞記念講演)

「セラミックス粉体成形の基礎的解明と材料創製への展開」

名古屋工業大学 理事・副学長 高橋 実 氏

講演2

「テラーメイド無機ナノマテリアルの創製と液中分散制御」

大阪大学接合科学研究所 准教授 大原 智 氏

講演3

「リチウム電池の電極構造と特性」

株式会社 豊田中央研究所 シニアフェロー 右京 良雄 氏

講演4

「窒化ホウ素系ナノチューブの創製と新規なナノ複合材料の応用可能性」

帝人株式会社 新素材開発室長 桑原 広明 氏

講演5

「粉体の構造制御による“おいしさ”の向上をめざして」

太陽化学株式会社 代表取締役副社長 山崎 義樹 氏

講演6

「ナノ・微粒子設計によるDDS製剤、医療デバイス等への応用」

ホソカワミクロン㈱ 辻本 広行

閉会挨拶

ホソカワ粉体工学振興財団 理事長 細川 益男

44

*Hosokawa Micron Group*

トピックス③ 粉体工業展 大阪2009 出展

**粉体工業展 大阪 2009 ～ 粉づくり・ものづくり・夢づくり ～**

会期:2009年 10月21日 ～ 24日

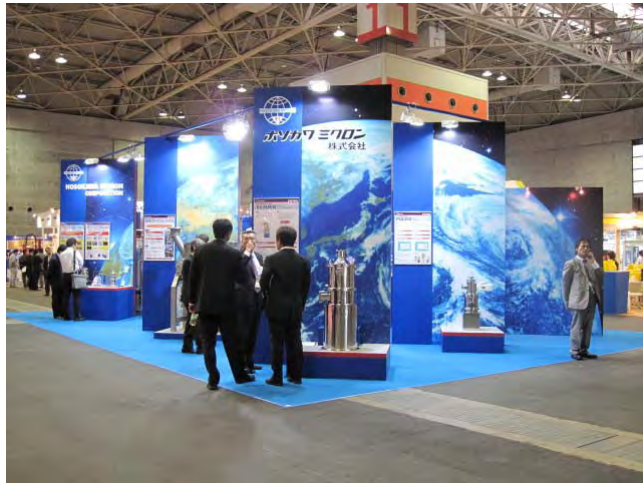
会場:インテックス大阪

会場来場者数:

**12,407 人**

当社ブース来場者数:

**1,155人  
(対前回比 125%)**



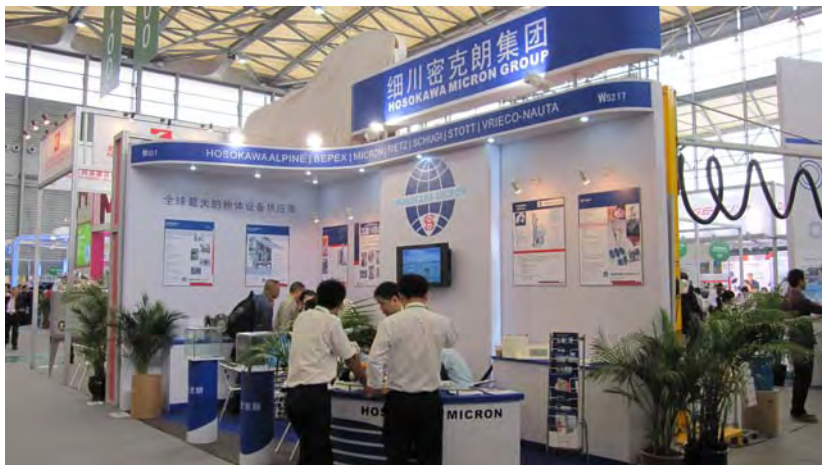
*Hosokawa Micron Group*

トピックス④ 国際医薬工業展(中国)

**The 14th China International Pharmaceutical Industry Exhibition China**

会期:2009年 10月27日 ～ 30日

会場:上海



46

トピックス⑤ プラスチック薄膜関連事業 展示会

“インフレーション多層フィルム成膜展示会”(大阪) 開催

共催: エクソン・モービル社

展示会概要:

3層マスキングフィルム、3層パウチフィルム  
および7層ハイバリアフィルムの  
成膜実演デモンストレーション並びに  
技術講演会

開催日: 2009年

11月24日、25日、26日

参加企業数: 34社 (180人)

参加国数: 中国、マレーシア、ベトナム、  
韓国、日本



トピックス⑥ 第16回ホソカワ粉体工学シンポジウム

主催: 粉体技術談話会 後援: ホソカワミクロン株式会社

テーマ: 電池性能向上の鍵を握る粉体技術

開催日:

2009年12月 8日

参加人数: 134名

講演1

電池性能向上に果たす粒子構造制御の役割

首都大学東京 教授 金村 聖志 氏

講演2

太陽光発電と粉体技術の展開

電力中央研究所 主任研究員 宇佐美 章 氏

講演3

二次電池の電極材料と粉体技術

三洋電機株式会社 モバイルエネルギーカンパニー  
エネルギー研究所 所長 藤谷 伸 氏

講演4

電池の性能と品質向上を支える粉体プロセスの役割

ホソカワミクロン(株) 研究所長 横山 豊和

閉会挨拶

ホソカワミクロン(株) 会長 細川 益男

見学会

見学: 分析センター、電池関係等粉体プロセス機器展示、化粧品・育毛剤コーナー



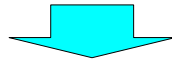
## 世界企業としてのホソカワの歩む道

社会に貢献する最先端の粉体技術を創造

☆環境・エネルギー分野への取組強化

☆新興国市場への経営資源投入

☆国際化、技術開発、人材育成



高能率・高収益の企業体質の構築

株主への還元

49

ご静聴、ありがとうございました。

なお、本資料に記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。

50